

節まとめの問い 民主的な社会では、なぜ法に基づいて政治が行われることが大切なのだろうか。

※デジタル教科書オリジナルの問いです

評価規準の具体例

知識・技能	・立憲主義の意義と法に基づく政治の大切さ、日本国憲法の三大原理、国民主権の意義と天皇の地位について理解し、その知識を身に付けている。
思考・判断・表現	・民主的な社会生活に関わるさまざまな事象から学習課題を見出し、「対立と合意」「効率と公正」「個人の尊重と法の支配」「民主主義」などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現している。
主体的に学習に取り組む態度	・民主的な社会生活に関わるさまざまな事象を基に、よりよい社会を考え、学習したことを社会生活に生かそうとしている。 ・p.41「節の問いをまとめよう」について、p.70「節の振り返り」の図を完成させ、節の問いの答えを自分なりにまとめている。

指導計画例

項目	本時の目標	端末活用	作成したいカード
1 民主主義と立憲主義	(1) 国家権力とは何かを理解できる。 (2) 国家権力をよりよく正しく使うために重要な民主主義や立憲主義の考え方について説明できる。	思考ツールの提示 カード作成 思考ツールで整理	権力 国家権力 多数決 民主主義 憲法 立憲主義
2 人権保障と法の支配	(1) 人権の保障がどのような歴史過程をたどって実現してきたのかについて、諸資料の読み取りを通して理解できる。 (2) 法の支配を実現するために必要なことについて説明できる。	カード作成 思考ツールで整理	人権 基本的人権 法の支配 人の支配
3 日本国憲法の成立と特色	(1) 大日本帝国憲法と日本国憲法の違いから、日本国憲法の特徴を理解できる。 (2) 日本国憲法の成立過程を、大日本帝国憲法と日本国憲法の人権に対する考え方の比較や、帝国議会の成立過程への関わりなどから考察できる。	カード作成	日本国憲法 憲法の三大原理 権力の分立
4 日本国憲法における国民主権	(1) 国民が主権をもつという考え方や、国民主権の具現化の方法について理解できる。 (2) 日本国憲法で国民主権が定められていることの意義を説明できる。	カード作成 思考ツールで整理	主権 国民主権 主権者
5 日本の平和主義	(1) 日本国憲法が定める平和主義の考え方について理解できる。 (2) 日本国憲法が平和主義をどのように定め、日本が平和主義を守るために行っていることについて説明できる。	カード作成	平和主義
節のまとめ		まとめ・発表・提出	

節まとめのプロセス

- はじめに、節まとめの問いに対して自分なりの答えを思考ツールでまとめていくことを示し、学習の見通しをもたせる。
- 毎時間の整理で、節まとめの問いに関わる必要なカードを作成させ、節まとめの問いと毎時間のつながりを確認させる。
- 毎時間の整理を基に、「まとめも」の機能を活用し、カードに関する補足説明をしたり、カードの色を変えて分類したり、カードどうしを矢印でつなげて関連性を考えたりしながら、節まとめの問いに対して構造化させて自分の答えをまとめていく。  
※オレンジ色の作成したいカードについては、節のまとめでは必須語句となるため、作成していない生徒がいれば作成を促す。
- 構造化させる前段階として、生徒の実態に応じて節まとめの問いと逆の問い「もし、法に基づく政治でないなら」をキャンディ・チャートで整理する作業を挟むと整理しやすくなる。

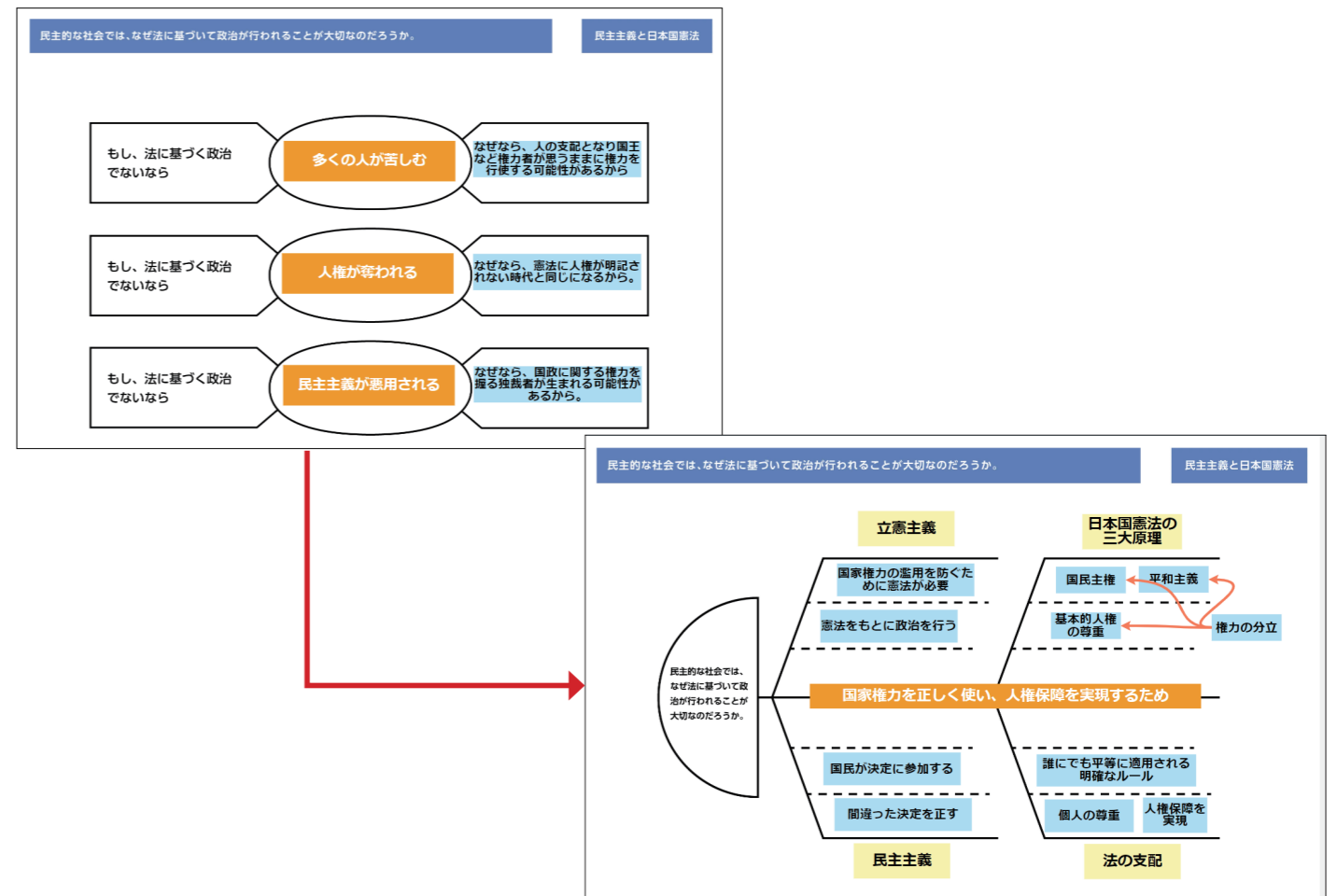
現代社会の見方・考え方の着眼点

対立と合意 効率と公正 個人の尊重と法の支配 民主主義 分業と交換 希少性 協調 持続可能性

使用した思考ツールと選定理由

- 大きな問題点を「魚の頭」、その原因を「中骨」「小骨」と記入していくことで、問題への対策を分析するとき用いる方法であるフィッシュボーンを使用した。
- フィッシュボーンを使用する理由は、節まとめの問いに対し多面的・多角的に捉え、学習内容を構造化させることに適しているためである。例えば、問題の解決策を検討する場面で、頭に問題（テーマ）、中骨に視点、小骨に具体的事実（具体例）などを書くことで、問題の要因分析に役立てることができる。本節は、節まとめの問いをテーマ（頭）にし、答えの核となる部分を背骨とし、その答えを構成する要素を中骨で整理し、その要素に関連する事実（具体例など）の配置を考えさせ、節の問いへの答えの構造化をねらいとしている。
- 節まとめの前段階として、仮定・条件に基づいて結果を書き、その根拠を明確にするキャンディ・チャートを使用した。
- キャンディ・チャートを使用する理由は、節まとめの問いにある「法に基づく政治」が困難な歴史過程をたどりながら実現してきたものであることを想起させることや考えさせることに適しているためである。

思考ツールを使った解答例



民主的な社会では、国民が決定に参加することが必要であり、国家権力の濫用や市民の権利侵害を防ぐ法が必要となる（立憲主義）。また、個人の尊重や人権保障を実現するためには法の支配も欠かせない。法の支配を実現するには、主権者である国民が制定した憲法による政治が必要であり、憲法で権力分立を定めることにより、権力の濫用を防ぐことができる。日本国憲法では、国民主権・平和主義・基本的人権の尊重を三大原理とし民主的な社会を実現しようとしている。

評価のポイント

- 「個人の尊重と法の支配」「民主主義」などの見方・考え方を働かせて説明している。
- 民主主義や立憲主義の考え（国家権力の濫用を防ぐために憲法が必要）を示している。
- 法の支配を実現することが必要であることや、個人の尊重が重要であることを説明している。
- 「立憲主義」「民主主義」「日本国憲法の三大原理」「法の支配」に関わる具体的事実を正しく選択している。これらの条件をすべて満たしていればA評価とする。